A.Takeda

## THE FAIRY STAKES　第40回 フェアリーステークス（GⅢ）

| | 1着 | 2着 | 3着 | 4着 | 5着 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本賞 | 38,000,000円 | 15,000,000円 | 9,500,000円 | 5,700,000円 | 3,800,000円 |
| 付加賞 | 518,000円 | 148,000円 | 74,000円 | | |

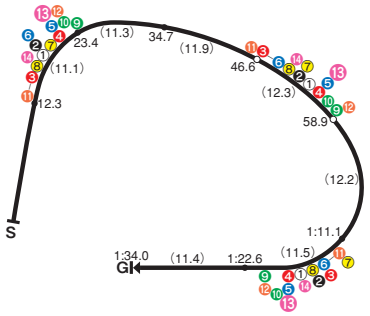
レース映像はコチラでご覧いただけます。

牝、3歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量　馬齢重量

2024.1.7　中山　曇・良　芝1600ﾒｰﾄﾙ　(国際)(特指)

| 着順 | 馬番 | 馬名 | 性齢 | 斤量 | 騎手 | タイム(着差) | コーナー通過順位 | 上り(600ﾒｰﾄﾙ) | 馬体重(増減) | 単勝オッズ | 調教師 | ﾚｰﾃｨﾝｸﾞ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ⑬ | イフェイオン | 牝3 | 55 | 西村淳也 | 1:34.0 | 4-4-4 | 34.8 | 480(－4) | 12.6⑤ | 杉山佳明(栗東) | 105 |
| 2 | ③ | マスクオールウィン | 牝3 | 55 | 津村明秀 | クビ | 13-13-11 | 33.9 | 492(＋6) | 14.0⑥ | 牧　光二(美浦) | 104 |
| 3 | ① | ラヴスコール | 牝3 | 55 | 横山武史 | クビ | 8-7-7 | 34.7 | 422(＋2) | 10.6④ | 加藤征弘(美浦) | 104 |
| 4 | ⑥ | スティールブルー | 牝3 | 55 | C.ルメール | クビ | 8-12-11 | 34.3 | 430(－2) | 2.4① | 宗像義忠(美浦) | 104 |
| 5 | ⑭ | ニシノティアモ | 牝3 | 55 | 田辺裕信 | 1¼ | 11-10-7 | 34.6 | 434(＋2) | 43.3⑩ | 上原佑紀(美浦) | |
| 6 | ⑨ | キャットファイト | 牝3 | 55 | 坂井瑠星 | ｱﾀﾏ | 1-2-2 | 35.3 | 446(＋4) | 3.7② | 上原博之(美浦) | |
| 7 | ⑪ | テリオスサラ | 牝3 | 55 | 石橋　脩 | クビ | 14-14-13 | 34.1 | 474(±0) | 6.6③ | 高柳瑞樹(美浦) | |
| 8 | ⑤ | ティンク | 牝3 | 55 | 佐々木大輔 | クビ | 4-4-4 | 35.1 | 488(－4) | 50.3⑪ | 久保田貴士(美浦) | |
| 9 | ⑩ | キャプテンネキ | 牝3 | 55 | R.ビーヒュレク | クビ | 2-3-2 | 35.3 | 530(＋2) | 52.9⑫ | 杉山晴紀(栗東) | |
| 10 | ④ | メイショウヨゾラ | 牝3 | 55 | 三浦皇成 | ｱﾀﾏ | 4-4-4 | 35.2 | 468(－12) | 20.4⑦ | 高柳瑞樹(美浦) | |
| 11 | ⑧ | カレンナオトメ | 牝3 | 55 | 菅原明良 | ¾ | 11-10-9 | 34.9 | 418(＋6) | 99.8⑬ | 小野次郎(美浦) | |
| 12 | ⑫ | ジークルーネ | 牝3 | 55 | R.キングスコート | 5 | 2-1-1 | 36.5 | 454(＋2) | 39.1⑧ | 栗田　徹(美浦) | |
| 13 | ② | エリカリーシャン | 牝3 | 55 | 横山和生 | ½ | 8-8-9 | 35.9 | 476(＋6) | 42.4⑨ | 国枝　栄(美浦) | |
| 14 | ⑦ | メジャーデビュー | 牝3 | 55 | 丹内祐次 | 2½ | 7-8-13 | 36.3 | 424(－10) | 220.1⑭ | 鈴木慎太郎(美浦) | |

単勝⑬1,260円(5ﾆﾝｷ)　複勝⑬330円(5ﾆﾝｷ)　③360円(6ﾆﾝｷ)　①310円(4ﾆﾝｷ)　枠連③-⑧2,890円(11ﾆﾝｷ)
馬連③-⑬8,250円(24ﾆﾝｷ)　ワイド③-⑬2,120円(23ﾆﾝｷ)　①-⑬2,050円(22ﾆﾝｷ)　①-③1,410円(14ﾆﾝｷ)
馬単⑬-③17,220円(49ﾆﾝｷ)　3連複①-③-⑬20,780円(68ﾆﾝｷ)　3連単⑬-③-①157,970円(451ﾆﾝｷ)




通過タイム：600ﾒｰﾄﾙ 34.7 - 800ﾒｰﾄﾙ 46.6 - 1000ﾒｰﾄﾙ 58.9　上り：800ﾒｰﾄﾙ 47.4 - 600ﾒｰﾄﾙ 35.1

### アラカルト

- 西村淳也騎手はフェアリーS初勝利。ＪＲＡ重賞は通算７勝目
- 杉山佳明調教師は21年の厩舎開業以来ＪＲＡ重賞初勝利
- エピファネイア産駒はＪＲＡ重賞通算15勝目

# イフェイオン *Ipheion*

**牝　芦毛　2021.4.1生**
**北海道千歳市　社台ファーム生産**
**馬主・㈲社台レースホース　栗東・杉山佳明厩舎**
**馬名意味・ベツレヘムの星と呼ばれる星型の花の名前**

レディインFR系　F1-I

| | | |
|---|---|---|
| エピファネイア<br>鹿毛　2010 | シンボリクリスエスUSA<br>黒鹿毛　1999 | Kris S. |
| | | Tee Kay |
| | シーザリオ<br>青毛　2002 | スペシャルウィーク |
| | | キロフプリミエールGB |
| イチオクノホシ<br>芦毛　2009 | ゼンノロブロイ<br>黒鹿毛　2000 | サンデーサイレンスUSA |
| | | ローミンレイチェルUSA |
| | レディインFR<br>芦毛　1999 | Kendor |
| | | Super Vite |

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA M3×S4
Hail to Reason S5×M5　Seattle Slew S5×M5

## INTERVIEW

**正岡稔**牝馬調教主任（社台ファーム）

### メンタル面に問いかけながら調教を進めました

人に対する反発心が強く、初期馴致では手ごわかったです。前に出ていく勢いが強く牝馬らしからぬパワーも感じていましたが、それが力みとなって空回りしないようにメンタル面に問いかけながら調教を進めていきました。杉山佳明調教師はうちのＯＢですので感慨深い１勝となりましたが、ここは通過点として人馬のこれからの飛躍を祈念し、我々も精進していきます。

**父エピファネイア**

北海道安平町　ノーザンファーム生産　中央、香、首14戦６勝(ジャパンC$^{G_I}$、菊花賞$^{G_I}$、神戸新聞杯$^{G_{II}}$、ラジオNIKKEI杯２歳S$^{G_{III}}$、日本ダービー$^{G_I}$２着、皐月賞$^{G_I}$２着)、15年から供用、21、22、23年日本２歳リーディングサイヤー２位〔代表産駒〕**デアリングタクト**(桜花賞$^{G_I}$、オークス$^{G_I}$、秋華賞$^{G_I}$、ジャパンC$^{G_I}$３着)、**エフフォーリア**(皐月賞$^{G_I}$、天皇賞(秋)$^{G_I}$、有馬記念$^{G_I}$、日本ダービー$^{G_I}$２着)、**サークルオブライフ**(阪神ジュベナイルフィリーズ$^{G_I}$)、**アリストテレス**(アメリカＪＣＣ$^{G_{II}}$、菊花賞$^{G_I}$２着)、**ブローザホーン**(日経新春杯$^{G_{II}}$)、**イズジョーノキセキ**(アイルランドトロフィー府中牝馬S$^{G_{II}}$)、**モリアーナ**(紫苑S$^{G_{II}}$)、**ジャスティンカフェ**(エプソムC$^{G_{III}}$)、**セルバーグ**(中京記念$^{G_{III}}$)、**ダノンデサイル**(京成杯$^{G_{III}}$)、**イフェイオン**(本馬)、他に活躍馬多数

**母イチオクノホシ**

北海道千歳市　社台ファーム生産　中央17戦２勝(サフラン賞、阪神牝馬S$^{G_{II}}$２着、クイーンC$^{G_{III}}$２着)

トランペットシェル(17 騸父ノヴェリストIRE)中央23戦０勝、地方９戦４勝 ㊐
ハービングハロー(18 牡父ロードカナロア)中央４戦０勝、地方４戦１勝
ミルヒシュトラーセ(19 牝父ドレフォンUSA)中央５戦０勝、地方20戦３勝
ビッグベルーガ(20 牡父ハービンジャーGB)中央11戦１勝 ㊐
**イフェイオン** 本馬(21 牝父エピファネイア)中央３戦２勝(フェアリーS$^{G_{III}}$)
　獲得総賞金45,818,000円
(22 牡父エピファネイア)
(23 牝父モーリス)
※15(死産)、16(生後直死)

**祖母レディインFR**

独、仏３勝(アイメリデマウレオン賞・仏Ｌ２着、ラカマルゴ賞・仏Ｌ２着、アイソノミー賞・仏Ｌ３着)、04年輸入、19年死亡

ハーバーコマンド(08 牡父マンハッタンカフェ)中央４勝(清滝特別、箱根特別、知床特別、菊花賞$^{G_I}$４着)
**イチオクノホシ**(09 前出)
レッドフィオナ(15 牝父ステイゴールド)中央２勝(かもめ島特別)、地方２勝
ナリタザクラ(17 牡父ジャスタウェイ)中央２勝 ㊐
**コスタボニータ**(19 牝父イスラボニータ)中央４勝(初音S、ジェンティルドンナC、ディセンバーS・Ｌ２着、阪神牝馬S$^{G_{II}}$３着、愛知杯$^{G_{III}}$３着、クイーンS$^{G_{III}}$３着) ㊐

K.Ishiyama

## 非凡な勝負根性で重賞初勝利を掴む

年頭に組まれた3日間開催の中日に行われたフェアリーSは、出走馬中唯一、重賞好走歴(アルテミスS3着)を持つスティールブルーが断然の支持を集めた。これに同舞台のアスター賞をレコードで圧勝したキャットファイト、昨秋の赤松賞でステレンボッシュの2着に食い下がったテリオスサラを加えた3頭が中心勢力を形成したものの、「人気馬苦戦」の傾向が目立つレースは今年も波乱の決着に。惑星候補と目されていた面々が上位を独占したなか、5番人気のイフェイオンが未勝利戦に続く連勝を飾り、クラシック候補に名乗りをあげた。

出足に優った馬たちを従え、先手を奪ったキャットファイトにジークルーネが競りかけ、2頭が雁行する形でレースを先導。外枠から好スタートを決めたイフェイオンの西村淳也騎手は自然体で4番手を確保し、流れに乗る。ダッシュがつかなかったスティールブルーは中団馬群の後方寄りを追走。ゲートが開く瞬間に立ち上がり、大きく出遅れてしまったテリオスサラは、最後方で反撃の機会を窺った。

馬群の外々を回りながらも十分な手応えを感じ取っていた西村騎手は、残り400㍍地点からスパート。力強い末脚を発揮したイフェイオンが、押し切りをはかるキャットファイトを呑み込み、坂の上りで先頭に躍り出る。後方2番手から目を引く脚勢で追い込んできたマスクオールウィン、中団の内々で脚を溜めていたラヴスコールに内外から挟撃されたゴール前ではもうひと伸び。非凡な勝負根性もアピールして勝利を掴んだ。

デビュー戦は強襲及ばずの3着に敗れた本馬だが、続く未勝利戦(内回り・芝1600㍍)は10、11月の京都開催を通じて〝最速〟となる好時計で完勝、素質の高さを示していた。短期放牧を挟み、関東の重賞に狙いを定めたこの日は、開業4年目の杉山佳明調教師と揃って初のタイトルを獲得。運びが難しいとされる外枠から正攻法で押し切った勝利の中身は濃く、前途には大きな期待が膨らむ。